

鵬 際

HOSAI

「鵬際」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近づきたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬際」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。

八代経済開発同友会
(通巻第117号)



<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



点から、線、そして面への イノベーション

平成27年度 八代経済開発同友会

第51代 代表幹事 伊藤 輝充

私が、八代経済開発同友会（以下「同友会」という）の新年度代表幹事を受任するにあたり・あらためて同友会会則に規程する「目的と事業」を確認しました。

第3条（目的）

本会は、自立と相互扶助の精神のもと、豊かな八代地域を実現するために必要な地域経済の振興を図ることを目的とする。

第4条（事業）

本会は、その目的のため、次の事業を行う。

- (1)地域経済基盤の確立と振興に資する事業。
- (2)会員相互の研修並びに親睦に関する事業。
- (3)その他本会の目的を達成するために必要な事業。

そして、これらの事業を立案し、遂行していくとき、私たちが常に振り返り、指針とするため50周年を機に「理念」を策定しました。

では、目的に謳われる「豊かな八代地域」にはどのようなコンテンツがあるのでしょうか？

広大な平野部で収穫される豊富な農産物、恵まれた海産物、海・山・川に近接した自然環境、温暖な気候、湯の町日奈久。これらを結ぶ利便性の高い交通アクセス（新幹線を含むJR・おれんじ鉄道・高速道路、高速を利用しての熊本空港までの往復路、さらに航路まで）

そして、何よりも私たち「奉仕の志を持った同友会会員」を含めた「人」ではないでしょうか。

八代地域では今、大きなプロジェクトとして二つの種が芽吹き、成長を促進させていると感じます。

その一つは、私たち同友会が牽引役となり、官民一体となって取り組んでいる「妙見祭のユネスコ無形文化遺産登録推進活動」であり、一つは「クルーズ船の入港や国際定期コンテナ航路の開設に伴う八代港の振興」です。これらこそ熱い思いを持った人

が人を繋ぎ、情報を繋ぎ、可能性を押し広げ、これまでになかった新しい展開を生み出そうとしているのだと考えます。

でも、八代にはまだまだたくさんの引き出し（可能性）があります。そして、その引き出しを活かそうと、数多くの団体、組織が存在し、イベントを行い、告知媒体（パンフレット等、FMラジオやケーブルテレビを含む）を利用しています。さまざまな情報ソースが「点」となり散在しているのです。

これら情報ソースの元には「人」がいます。今年度はこの散在した「人」「点」を活かしていくために、同友会が結束バンド〔プロデューサー〕となり、「点」を「線」として情報を繋ぎ、「線」を「面」として、さらに「立体的に立ち上げる」お手伝いをするに取り組んでいきたいと考えます。

ところで神園直前代表幹事のもとに取り組み学んだ「理念」。これが51年目からの起点となりました。これこそそのままにしてはなりません。この「理念」を種として育て「進化と変化＝イノベーション」を線・面として継続していくことも本年度の大切な使命です。

去年春、突如発表され、昨今報道で盛んに取り上げられている「人口減少問題」。ここから派生する変化（労働力不足や市場の減少など）は、緩やかに歩みを止めず進行していきます。私たちがこの問題に向き合い、対峙していく術は、「進化と変化＝イノベーション」を継続していく他ないと考えます。「言うは易し、行いは難し」ですが、会員の皆さまが当会の活動に積極的に関わり続けていくことが一助になるものと信じます。

これから1年間、同友会51年の伝統と実績に恥じぬよう全身全霊で務める覚悟でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員会事業計画

活力ある地域づくり委員会

委員長 横林 宏志

ふるさと、やつしろ。ここで生まれ育ち、長年暮らしてきたまち。海も山も川も空もきれいで住みよいまちです。ただ、観光・レクリエーションという面



からみると、ちょっと物足りないものがあります。市内の人口密集地域からもっとも近く八代海に面した温泉地、「日奈久温泉」、開湯600年の歴史を誇り、泉源豊かで、肌触りのよい温泉です。また、山に目を向けると坂本町の「球麗温」、東陽町の「せせらぎ」などがあります。しかしながら、観光客の宿泊数は、年を追うごとに減っているのが実情です。今年度は、往年のにぎわいのあった頃の「日奈久温泉」に夢をさせ、活性化を目指してまいります。これまで当会としても幾度かご当地には足を運び、様々な組織、団体と話し合いを重ねたと聞き及びます。そして、温泉地入口に無料の「足湯」の設置などをおこなってきました。

また、近年、国内外の豪華巨大クルーズ船が寄港するようになりました。今年度は二桁に乗る勢いと聞き及びます。これらを含めた、「日奈久温泉」を今一度検証し、産官学連携を模索し、活性化へつながる検討をしてまいります。

幸福感のある企業づくり委員会

委員長 村田 眞一郎

妙見祭ユネスコ無形文化遺産登録推進活動を通して、八代市には、妙見祭に代表されることが歴史や史跡、文化財など世界に誇れるものがこんなにも豊富にあるという事を再確認することができました。それだけでなく、八代港や高速道路、新幹線など、インフラ整備における優位性も合わせて再確認させられました。しか

し、その八代は、今後地方の人口減少と高齢化に直面している地域でもあります。八代という恵まれた環境の再認識と同時に地方が直面する問題解決の必要性は、本年度の代表幹事の所信にもあるように、我々の外部環境における機会と脅威として明確に認識されているものです。

幸福感のある企業づくり委員会は、地方の人口減少や高齢化によって予想される労働者不足に対して、企業における人材の確保という点において「人本主義の経営」というテーマで引き続きやっていこうと思います。

具体的には、今までの研究成果を踏まえた上で、まずは、現会員企業における人本主義的な経営の実践について調査します。また、その中での「幸福感」をどう捉えているかについても調査研究します。その過程で、実践している企業については、その進化について検討し、まだ具体的な実践ができていない会員は持っている疑問や不安などを浮き彫りにし、改めて人本主義経営の実践に結びつけたいと考えています。

幸福感のある企業づくり委員会においての、「点から線、そして面へのイノベーション」は、今までの研究成果を会員企業へ根付かせ、実践へと結びつけることでイノベーションを実現したいと考えます。

共に集い委員会

委員長 坂本文仁

共に集い委員会では、まず会員拡大（年間12名）を目標として活動を行います。集うことによって得るもの、例えば情報、八代の企業として第一線で活躍しておられる方々の情報や知識、机の上では決して得ることのできないものと考えます。

また八代が直面する問題や課題、もしくは向



かっていくべき方向の共有。上記のようなことを懇親会やレクリエーションを使い、参加してよかった、次回もぜひ参加しようと思えるような企画をし、会員拡大につなげていきたいと考えます。

- ①会員拡大 12名
- ②慶寿の会の企画
- ③レクリエーションの企画（日奈久で夏・秋冬2回）ゴルフ
- ④「活力ある地域づくり委員会」と「市（商政観光）」との連携
- ⑤日奈久フットパスの実現

共に学び委員会

委員長 濱 孝治

共に学び委員会では、伊藤代表幹事の所信にもあります同友会の「目的と事業」を全会員で再認識し同友会が一つに結束することが必要であると考えます。



それは結束力の強い団体こそが市民や他団体を巻き込み、豊かな八代の実現へとつながる事業が出来るからです。

これからの八代は外港の整備やクルーズ船の入港、そして妙見祭のユネスコ無形文化遺産登録等、今までになかった流れがおきようとしています。これらの要因により多くの外国人がこの八代に足を踏み入れる可能性が高まっており、またとないビジネスチャンスだと考えられます。このビジネスチャンスを同友会メンバーが率先して活かし、市民へ波及させるべきではないでしょうか。

八代の変化をビジネスチャンスに活かす「学び」こそ同友会メンバーに必要なと考えます。これらの点をふまえて、これからおとずれるビジネスチャンスを会員一人一人が学び、自社に

活かし、一人でも多くの市民に伝え「点」から「線」そして「面」へのつながりによって八代全体が力強く前へ進んでいくことが求められると考え本年の委員会活動にしていきたいと考えます。

- ①例会・総会・委員会等への出席率を上げ、結束力を高める。（退会者を出さない）
- ②例会の企画運営
- ③総会の運営

情報発信委員会

委員長 平山 浩子

本年度は、51年目より取り組んでいる“八代妙見祭2016ユネスコ無形文化遺産へ”の活動の大きな山場になる年です。

今年3月1日の“八代サミット”での市民の関心の高まりをベースに、その力をより大きく、実現化していかなければなりません。せっかく起こしたこの火種を、より大きな炎にするために、その感動をより多くの方に共有していただくために、今までにも増しての情報の発信が必要不可欠になる年です。この一年のがんばりが“2016”の感動の大きさを左右するものだと思います。この点をしっかりと肝に銘じて、後悔のない、やり残し感のない、情報発信委員会として満足できる、自慢できる年にしていこうと思います。



八代妙見祭 2016ユネスコ無形文化遺産へ!

八代の宝から 世界の宝へ!

八代妙見祭2016ユネスコ無形文化登録への道

全国・山・鉾・屋台連合会 全国大会報告

ユネスコ支援実行委員長 吉武卓哉

5月30日～31日、全国・山・鉾・屋台保存連合会総会に神園アドバイザーをはじめ同友会メンバー7名で参加してきました。(三重県桑名市で開催：人口は、八代とほぼ同じ14万人です)桑名で感じたことですが、桑名の町を歩くと、東海道宿場町の名残を感じる町並みや商家がた

くさん残り、情緒を紡ぐ一因となっていました。熊本市内と言うと、新町界隈や並木坂、大分県日田市と言うならば、豆田町といったところでしょうか?

さて、桑名では交流会や視察の場で自分たちの祭りを語る祭り人たちには、戦災により祭りの出し物である屋台が7割ほど焼失し(各町内で屋台を保有・市内約40町内)、さらに祭りの資料・文献まで失われたものの、その復活を成し遂げ、祭りを今日まで受け継いできた誇りが満ち溢れていました。



宿場町桑名の古い町並みを今に残してきたことへ繋がる文化の醸成度と連動していると考えます。「種の保存=イノベーション」を町と人が脈々と受け継いでいる印象がいたるところで伝わってきました。

「生活している人」が「町」を作り、「祭り」を支え、生き生きと毎日を過ごしている。「連動」は当然の帰結だと考えます。

もちろん、名古屋経済圏に含まれていることも大きな要素の一つでしょう。

八代に置き換えてみるとどうでしょうか?…城下町である八代の古い町並みや商家は、今、それを伝える姿がどれだけ残っているのでしょうか?

松井家の「松濱軒」くらいで無いに等しい、と言っても過言ではありません。

そこで「ドヤ顔」です。これこそ「祭り人の誇りや喜び」を刺激し、町の元気、市民の元気を取り戻す具体的かつ実効的なツールだと考えます。

今年度はぜひこの「ドヤ顔フォト」を市民の皆様にご披露したい!と考えています。「ドヤ

顔フォト」が「祭り参加者」と「市民の皆様」へ「自信と誇り」「観る人々への感動」を感じさせてくれると思います。また「祭りのドヤ顔」というネーミングも、いい意味で興味を喚起させるのではないのでしょうか。

今回、ユネスコに登録される33団体のお祭りは、集客度ではなく、文化度・民度の象徴である、ということを感じました。

「祭りのドヤ顔」を起点に妙見祭への理解を進め、さらに妙見祭の歴史を学びながら八代の歴史を知る過程で、流入人口への「おもてなし」の心が醸成されていくことを期待しています。

「こぎゃん所に何しに来たと?」を「どれどれ、何から紹介しよか、色々あるばってんね〜」へ変えていく最初の階段が、第2回「ドヤ顔フォト」になればと考えています。

もちろんクルーズ船の来航も、黒船となり、上記階段の一つである、と考えます。

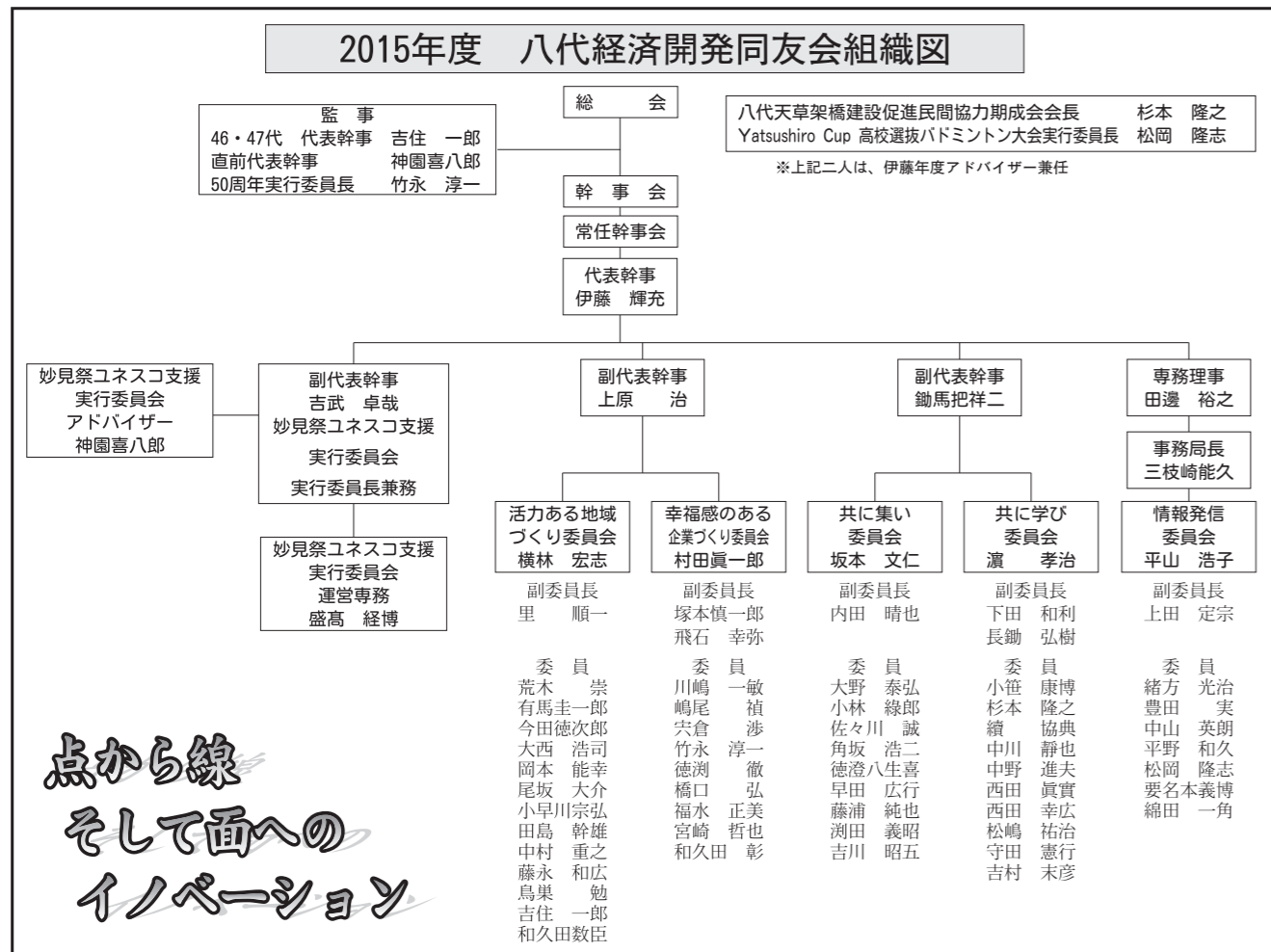
他、色々、お話ししたいことはありますが、詳しくは、次回例会にてご報告させていただきます。



“ユネスコ支援応援隊” 事業スケジュール (2015.4～2016.3)

2015年	6月～7月	山・鉾・屋台連合会 九州地区団体(唐津・北九州・福岡・日田) 訪問 常設展示場(博多館予定) 笠鉾の模型製作・展示(3Dプリンター作成) くま川祭りへの参加 ドヤ顔コンテスト写真撮影
	7月	
	8月	
	11月～11月23日	
2016年	1月中旬	第2回ドヤ顔コンテスト

その他、子供達へのお祭りの継承/県南(人吉・球磨・水俣)地域へのPR等、計画しております。



点から線
そして面への
イノベーション

定期総会・例会報告

～地域づくりに貢献できる、強い組織づくりと、思いの共有化を～

4月定例総会

4月27日(月)八代ホワイトパレスにて18:00より開催されました。伊藤代表の挨拶の後26年度の事業報告、決算報告、27年度の事業計画、予算案等が承認されました。その後の懇親会では、地元出身の映画監督遠山昇司氏による普段触れることのない映画の話に、一同興味津々で新鮮な時間を過ごすことができました。



5月例会



5月25日(月)19:00より八代グランドホテルにて5月例会が開催されました。今回の例会は100%出席例会として、同友会初めての試みでしたが、会員皆様のご協力のおかげで達成することができました。例会後の懇親会では、みなこの達成感を分かち合い、いつもにも増して、和やかで明るい会となりました。

ようこそ90人の侍へ 新入会員の紹介

三枝崎 一丸 会員 48歳
平成27年5月20日入会承認
(有)なにわ 代表取締役
趣味 花馬

ととるより、皆で歓迎いたします!
会員紹介はホームページでもおこなっております。

八代経済開発同友会 検索

観てみよう! 八代経済開発同友会ホームページ!!



👍 いいね! 参加してみよう! 八代経済開発同友会 facebook

同友会会員企業名

(71社)

氏名	会社名	会社電話番号	氏名	会社名	会社電話番号
荒木 崇	八代ゴルフ倶楽部	38-9800	中川 静也	学校法人 八商学園 中九州短期大学	33-5134
有馬圭一郎	(有)まもるほけん	35-4593	中野 進夫	(株)八代角丸商店	37-1813
伊藤 輝充	(有)あたらし屋旅館	38-0213	中村 重之	(有)ダイナックス	34-9277
今田徳次郎	日奈久水産(株)	38-0813	中山 英朗	(株)中山建設	33-5047
上田 定宗	有限会社 上田電気商会	32-5261	長鋤 弘樹	(株)Passion	32-5509
上原 治	上原税理士事務所	33-2106	西田 幸広	西田総合法律事務所	62-8582
内田 晴也	(株)カーライフ (有)内田自動車工業	33-2355	西田 眞實	(有)にしだ	34-1534
大西 浩司	熊本中央信用金庫 八代支店	34-0211	橋口 弘	(有)橋口商店	32-3055
大野 泰弘	料亭 新歌扇	32-3800	濱 孝治	(資)浜商店・お茶の濱大松園	33-5163
緒方 光治	(資)緒方印刷所	32-3117	早田 広行	(株)エフ・イー・ティーシステム セレクトロイヤル八代	34-1111
岡本 能幸	太陽開発(株)	31-0558	平野 和久	コスモ開発	34-5671
尾坂 大介	松木運輸(株)	37-3145	平山 浩子	(有)OFFICE メセナ	32-7123
小笹 康博	(株)小笹建設	32-7410	福水 正美	東京海上日動火災保険(株)	35-3211
川嶋 一敏	NTT西日本 八代支店	34-6000	藤浦 純也	株式会社 藤浦本店	32-2161
神園喜八郎	(有)神園交通	32-2121	藤永 和広	(株)藤永組	33-3167
小早川宗弘	コム・スペース(株)	35-0888	淵田 義昭	(有)葵	32-4418
小林 緑郎	宗教法人 八代神社	32-5350	松岡 隆志	(株)ゼロワン	31-1101
坂本 文仁	(株)坂本食糧	53-9211	松嶋 祐治	(株)松島建設	33-1941
佐々川 誠	(有)エンゼル	43-1110	三枝崎能久	(株)スタジオ カツミ	33-1618
里 順一	(株)フリーライフボックス	45-9868	三枝崎一丸	(有)なにわ	32-8145
穴倉 渉	穴倉渉税理士事務所	33-3521	宮崎 哲也	クギヤ印刷(株)	34-2031
嶋尾 禎	熊本銀行 八代支店	32-2103	村田眞一郎	有限会社 まこと商会	37-1371
下田 和利	(有)下田青果生花部ぺんぎんや	34-2169	守田 憲行	(株)出雲総業	33-0551
杉本 隆之	杉本園製茶(株)	32-3316	盛高 経博	盛高鍛冶刃物株式会社	32-4643
鋤馬把祥二	熊日新聞西部販売(株)	34-5151	横林 宏志	(有)八代中央整備工場	34-7590
竹永 淳一	(株)通信館	33-9300	吉川 昭五	昭和工業(株)	33-4669
田島 幹雄	八代地域農業協同組合	35-3333	吉住 一郎	吉住酸素工業(株)	33-1105
徳淵 徹	熊本第一信用金庫 八代支店	31-6211	吉武 卓哉	メディア(株)	33-4837
田邊 裕之	リーガルパートナーズ司法書士事務所	33-5411	吉村 末彦	看板のヨシムラ	37-1583
塚本慎一郎	(有)塚本建設	37-0201	要名本義博	八代ドライビングスクール	32-8135
續 協典	(有)続プロパンガス商会	34-7473	頼藤 浩	(資)頼藤商店	33-1145
角坂 浩二	角坂設備(株)	33-2038	和久田 彰	プラスワン美容室	33-0190
徳澄八生喜	(有)徳澄塗装	34-8535	和久田数臣	和久田建設(株)	32-5171
飛石 幸弥	八代グランドホテル	32-2111	綿田 一角	(株)八代美研	35-3785
鳥巢 勉	肥後銀行 八代支店	32-3171	続 保廣	(有)続プロパンガス商会	34-7473
豊田 実	(株)不知火建設	32-3384	岡崎 薫	八代経済開発同友会 (事務局)	32-5620